

本校の調査結果の概要

本年度の調査の概要

目 的	義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
調査対象	中学校第3学年 （小学校第6学年）
調査内容	<ul style="list-style-type: none">●教科に関する調査（国語、数学、理科）<ul style="list-style-type: none">①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など②知識、技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など●生活習慣や学習環境に関する質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
調査日時	令和7年4月16日（水）、4月17日（木）
留意事項	<p>本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が特定の教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要である。</p> <p>平均正答数、平均正答率のみでは必ずしも調査結果の全てを表すものではなく、他の情報とあわせて総合的に結果を分析、評価することが必要である。また、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。</p>

令和7年11月

札幌市立明園中学校

【生徒質問調査】から

□肯定的な回答が80%以上のもの

(差は、全国平均と比較したものである。)

質 問 事 項	本校	差
朝食を毎日食べている。	92.1	+ 0.9
毎日同じくらいの時刻に寝ている。	80.7	- 0.3
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	91.2	- 1.4
自分には、よいところがあると思う。	86.0	- 0.2
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	87.8	- 4.4
人が困っているときは、進んで助けている。	89.4	- 1.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	96.5	+ 0.6
人の役に立つ人間になりたいと思う。	96.5	- 0.1
自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思う。	89.5	+ 5.9
自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思う。	97.4	+ 5.9
自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思う。	87.8	+11.2
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	93.0	+ 1.1
学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	82.4	- 1.9
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	89.5	- 2.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	94.8	+ 6.5
理科の授業では、自分の予想(仮説)をもとに観察や実験の計画を立てている。	81.6	+11.4

■肯定的な回答が50%未満のもの

(差は、全国平均と比較したものである。)

質 問 事 項	本校	差
新聞を読んでいる。	2.6	+ 1.0
数学の勉強は得意である。	41.2	- 4.8

○本校生徒の生活実態(%)

平日の家庭学習時間 (塾、家庭教師等を含む)	3時間以上	2~3時間	1~2時間	0.5~1時間	30分未満	しない	
	5.3	20.2	34.2	15.8	14.9	9.6	本校
	9.9	20.9	30.8	19.1	11.3	7.7	全国
休日の家庭学習時間 (塾、家庭教師等を含む)	4時間以上	3~4時間	2~3時間	1~2時間	1時間未満	しない	
	6.1	7.9	22.8	21.1	21.9	19.3	本校
	5.3	8.5	18.7	25.4	24.1	15.4	全国
1日当たりどのくらいの時間、 スマホやタブレットを勉強の ために使うか (平日)	3時間以上	2~3時間	1~2時間	0.5~1時間	30分未満	使わない	
	1.8	3.5	7.0	17.5	39.5	29.8	本校
	2.7	3.2	7.8	17.9	35.9	30.3	全国

・質問用紙の結果から、本校の生徒たちは自分のことを認めつつ周りの人に興味をもちながら学校生活を送っていることがわかりました。反面、ITC 機器の使用は得意ですが、まだ学習には活用しきれていないことや粘り強く繰り返し学習することが苦手な傾向にあることもわかりました。生徒たちが思考力、自分で考えて行動する力、また学習を実生活に結び付ける力を身に付けるためにも、引き続き授業改善に取り組んでいきます。

【国語】

本校の概要

【学習指導要領の内容と領域】

◆知識及び技能

□「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

◆思考力、判断力、表現力等

□「話すこと・聞くこと」の平均正答率

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

□「書くこと」の平均正答率

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

□「読むこと」の平均正答率

- ・全国平均を上回っている。

今回調査における課題

●事象や行為を表す語句について理解すること。

●資料や情報機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

●読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。

●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。

改善の方向

○新しく出会った言葉について調べたことを記録したり、その語句を話や文章の中で使ったりする活動の充実。

○情報機器を活用した資料の提示方法と及ぼす効果について比較し、伝達内容に応じて方法を選択する活動の充実。

○伝えようとするものが伝わるかどうか、文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けや語句の選び方・使い方が適切かどうかを確かめながら自分の書いた文章を見直す活動の充実。

○表現の効果について、自分の考えを支える根拠を挙げながら自分の考えを書いたり発表したりする活動の充実。

それぞれの領域ごとに本校の平均正答率と全国平均を比較し、その結果を5段階で表している。

- ・+3.1ポイント以上⇒「全国平均を上回っている」
- ・+3.0ポイントの範囲内で全国平均を上回る⇒「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る」
- ・全国平均と同じ⇒「全国平均とほぼ同程度である」
- ・-3.0ポイントの範囲内で全国平均を下回る⇒「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る」
- ・-3.1ポイント以下⇒「全国平均を下回っている」

【数学】

本校の概要

区分及び学習指導要領の領域】

□「数と式」の平均正答率

- ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回る。

□「図形」の平均正答率

- ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回る。

□「関数」の平均正答率

- ・全国平均とほぼ同程度であるがやや上回る。

□「データの活用」の平均正答率

- ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回る。

今回調査における課題

●数量を文字を用いた式で表すこと。

●証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たにわかる辺や角の関係を見出すこと。

●1次関数の変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めること。

●必ず起こる事柄の確率について理解すること。

改善の方向

○割合やパーセント、増減などの意味を理解し文字を使って表現する活動の充実

○論理的に正しく導かれた証明を振り返り、新たな関係を説明しあう活動の充実。

○1次関数における、表、式、グラフから読み取れる事象を関連付けて説明する授業の実践。

○起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的に説明する活動の充実。

それぞれの領域ごとに本校の平均正答率と全国平均を比較し、その結果を5段階で表している。

- ・+3.1ポイント以上⇒「全国平均を上回っている」
- ・+3.0ポイントの範囲内で全国平均を上回る⇒「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る」
- ・全国平均と同じ⇒「全国平均とほぼ同程度である」
- ・-3.0ポイントの範囲内で全国平均を下回る⇒「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る」
- ・-3.1ポイント以下⇒「全国平均を下回っている」

【理科】

課題

- スケッチに関する基本的な知識及び技能。
- 元素を記号で表す基本的な知識及び技能。
- スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現すること。
- 水の中の生物を観察する場面において、呼吸に関する知識及び技能を活用して、呼吸を行う生物について適切に説明すること。

改善の方向

- 身のまわりの生物をスケッチする学習活動の充実。
- 元素を記号で表す学習活動の充実。
- スケッチした植物の特徴を基に、既存の知識と関連付けて、その植物の体のつくりを他者に説明するなどの学習活動の充実。
- 様々な生物の呼吸を観察する過程で、生物の呼吸に関する共通性と多様性を見だし、生命を維持する働きについて他者と交流するなど、概念的な知識まで高める学習活動の充実。